

# HFA キッズ通信



<http://www.hyogo-fa.gr.jp/kids/index.html>

## 丹有サッカー協会

丹有サッカー協会は、三田市・丹波篠山市・丹波市の3市から成る協会です。その中で、キッズ委員会は、幼稚園訪問スクール、キッズフェスティバル、キッズリーダー養成講習会を行っています。年々、子どもの数の減少に伴い、サッカー人口も減ってきている中、キッズフェスティバルの開催を3年前より、従来のU-8以下から、U-9のキッズフェスティバルの開催も始めました。サッカーをする子どもたちの多くは、U-9(3年生)から始める子どもが多く、また、受け入れるチームも3年生から活動することが多いことから、U-9年代の開催を始めました。参加チーム、参加人数共に、U-9は非常に多くの参加があり、大変盛りあがっていますが、U-8以下の参加は年々、減少しており、丹波地域に限っては、参加チームが0といったこともありました。また、キッズリーダー養成講習会も2年前に開催されましたが、開催可能人数がギリギリだという状況でしたが、なんとか開催することが出来ました。4種登録しているチームにおいても、U-6以下での活動をしているチームは限りなく少なく、キッズリーダーの必要性を感じることがないのかもしれませんが。キッズへの取り組み、キッズ年代でのサッカー人口の減少を抑えることが、急務となっている現状を多くの指導者に感じて頂き、共に、丹有サッカー協会キッズ委員会を盛り上げていただきたいと願っております。大人が動けば、子どもの環境が変わります。是非、多くの大人が関わり、子どもの環境をより良くしていきましょう！！

(丹有サッカー協会キッズ委員長 前田雅弘)

## JFA キッズサッカーフェスティバル

平成31年3月23日少し寒さが戻った中、大蔵海岸多目的広場でフェスティバルが開催されました。兵庫県サッカー協会のフェスティバルとしては、平成最後となりました。参加された選手は、今回も元気にボールを追いかけていました。選手の動きを目で追いかけている保護者のみなさまの笑顔がすごく印象的でした。新しい元号となっても、参加いただく選手だけでなく、保護者のみなさまの笑顔を絶やさないフェスティバルとしますので、これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



(キッズフェスティバル部 岡部信雄)

## 「アナフィラキシー」

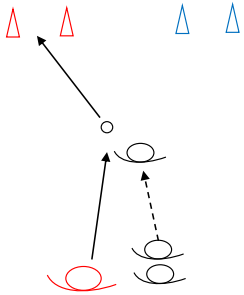
前回の当誌に「運動誘発喘息」について記載しました。体に発生するアレルギー反応の一種です。人体に侵入してくるものから身を守るため免疫力があります。人の体に入ってくる物は、細菌やウイルスのみならず、食物なども全て異物としてチェックされます。その際に本来無害なものなのに過剰に反応し、不利益なものとして誤認され体に不都合な症状をきたすことがあります。こういった反応をアレルギーといいます。このアレルギー反応が喘息といわれる咳、呼吸困難にとどまらず、体表に強い痒みをともなう紅潮・蕁麻疹など、腹痛・嘔吐といった消化器症状や意識障害・血圧低下といった循環器症状など、生命維持に危険を感じるような強いアレルギー反応を呈する時、これをアナフィラキシー、重症の場合はアナフィラキシーショックといいます。最近、食物アレルギーのある子どもが大変多くなっています。食生活の変化や多様性によると考えられています。保育園・幼稚園・学校などの給食には大変注意が払われるようになりました。気をつけていても時に誤食によるアナフィラキシーを起こすことがあります。明らかな食物アレルギーがありアナフィラキシーを惹起する危険性のある子どもはアナフィラキシー発生時、自己注射をする「エピペン」という特殊な注射を携帯することが多くなっています。原則自己注射ですが、本人が実行できない状態であれば教師、コーチ(医師や看護師でなくても)など身近にいる人が実施しても良いとされています。これまで食物アレルギーの診断を受けたこともなく、何を食べても大丈夫だった子どもが、ある種の食物を摂ったのち運動をするとアナフィラキシー症状を呈することがまれにあります。この発症メカニズムは充分解明されていませんが、これを食物依存性運動誘発アナフィラキシーといいます。統計的には原因となる食物は小麦、甲殻類が多いようですが、果物や野菜でも発症はみられています。以前、食物アレルギーがあり、現在は摂食制限がなくなった子どもはより用心が必要です。食後の運動時、アナフィラキシーを度々発症する場合は専門医の診察を受けるべきでしょう。また、発症原因になるような食物を食べたあとは2時間くらい運動を控える、運動中に体に蕁麻疹様の発疹が出てきたら休む、体調不良や風邪薬を服している時は無理をしない、といった注意が必要でしょう。不幸にしてアナフィラキシー状態に陥ったときは「エピペン」を所持していれば直ちに勇気を持って使用すべきでしょう。いずれにしろ救急搬送の適応と考えます。



(医科学部 てい小児科 鄭 源紀)

## キッズドリル

狙ってシュート!



- ・コーチから配給されたボールを追いかける。コーチはコーンの色を指定し選手は指示された色のコーンの間にシュートする。

Keyfactor

- ・どちらのコーンを狙うかしっかりと観る・コーンの間にしっかりとシュートを蹴り込む（精度）
  - ・ボールをシュートを打ちやすい所に止める
- 発展・留意点
- ・コーンの場所、数を増やす。
  - ・1対1に発展させる事で難易度が上がる。



(JFA 公認キッズインストラクター 安部井雄太)



## 食育コラム

体を構成する成分には普段そんなに意識することはないけれど、不足すると色々な影響が出てくるものがあります。少量しか体の中には存在しておらず微量元素とよばれますが、その中のひとつに亜鉛があります。

新陳代謝をよくするはたらきもあり不足すると味覚障害や食欲不振を起こすことが知られています。食品としては魚介類（なかでもかきに多い）肉、卵、ナッツ類、穀類などに多く含まれますが、一般的にバランスを意識した食事をしていればそう不足することはないといわれます。極端な偏食があったり、加工食品が続くような食生活では不足しやすいので注意。大人ではアルコールの多飲も影響します。毎日の食事は食べたいものを食べるのが一番！とは思ものの、好きなものや食べやすいものばかり食べていると偏るのも事実。JFA の栄養ガイドラインにもあるように、「好き嫌いをなく食べる」「品目を多く」ということが大切です。

ただ何でもおいしく食べられればいいのですが、そうはいかないことも。たとえば子どもが食べられなくても家族がおいしそうに食べていけばそれでいいし、ひとつでも食べられるものがふえたらそれはすごいこと！

そんなふうに気楽に食事の時間を楽しんでほしいと思います。

(医科学委員会 管理栄養士 原田亮子)

## キッズ巡回指導責任者研修会

昨年度より開催されている（公財）日本サッカー協会キッズ巡回指導責任者研修会が5月11日（土）～12日（日）静岡県帝人アカデミー富士で開催され、（一社）兵庫県サッカー協会の責任者として参加させて頂きました。

巡回指導（訪問スクール）は、担当指導者が幼稚園、保育園、こども園に出向き子どもたちにサッカーの楽しさや体を動かすことの楽しさを伝え、幼稚園教諭・保育士さんたちにサッカーへの理解者、協力者になってもらうことが可能な重要な事業です。

研修会は、47都道府県の巡回指導の責任者が一堂に会し、講義及び実技（指導実践）を中心に行われました。

「キッズ巡回指導ガイダンス」「指導実践ガイダンス」の講義を受講しその後、参加者を大きく3組に分け、巡回指導の実技内容を5～6人でグループを作り、2回の指導実践を行いました。指導実践前のグループディスカッションでは、指導メニューを吟味し役割分担などを決めるなど議論し終了後は問題解決に向けたディスカッションもし、指導者のベクトル合わせも出来ました。

私自身の感想は、今後、巡回指導で訪れる園で子どもたちにサッカーの良い出会いを提供し運動、サッカーが楽しかった、もっとやりたい、また来てねと言われるよう指導の質を高めたいと感じました。

巡回指導責任者研修会の伝達講習会を6月2日（日）に北播磨協会キッズ委員会と協力し小野総合体育館アルゴで予定しています。

(訪問スクール部 岡 俊彦)



## JFA 公認キッズリーダー養成講習会

2019年5月5日 @兵庫県立西宮高等学校

1年生2年生のサッカー部員とマネージャー3名を含む54名のキッズリーダーが新たに誕生しました。

子どもの発達段階の特徴や接し方など学びました。

実技では「鬼ごっこ」や「ボールフィーリング」など体験してもらいました。

高校生では出来て当たり前が多かったと思います。

低年齢の子ども達ではどうでしょうか？

次はキッズフェスティバルで子どもたちをサッカー大好きに導いてください。

子ども達がサッカーと出会い、サッカーに目覚め、外遊びの楽しさを伝えてください。

開講にあたり顧問の先生をはじめ学校関係者の方々のご理解に感謝致します。

JFA 公認キッズリーダーは受講年度の4月1日において、満15歳以上であれば誰でも受講できます。実技1.5時間、講義1.5時間と非常にコンパクトなカリキュラム構成になっており、誰もが楽しんで学べるコースです。是非トライしてみたいはいかがでしょうか？

(JFA 公認キッズリーダーチーフインストラクター 川瀬良裕)



詳しくはホームページをご覧くださいネ♪

info@hyogo-fa.gr.jpへ

皆様のご訪問を心より

お待ちしております

(編集 F)



<発信元> (一社) 兵庫県サッカー協会キッズ委員会

住所：神戸市中央区八幡通2-1-10

電話：078-232-0753 FAX 078-232-4647

URL：http://www.hyogo-fa.gr.jp/

メール：info@hyogo-fa.gr.jp

